



小松多賀神社と旧館跡土堤

徳元年（一三二九）葦名盛宗の臣富田将監と伝えるから、それよりやや後れて、時代的には無理はなく、やはり葦名の臣であったかと思う。禄高五千石ともいうが、これは下荒井の富田と同禄である。

その後平田総右エ門が住んだとあるが、これは村北の館で、禄は八八五石九斗二升七合であったとも伝えている。天正の頃（二五七三〜一五九一）になって松本源兵エが、やはり五千石で住んだとあるが、禄高などからみて、やはり村中の小松弾正の住んだ館かと思われ

る。村西の館は風土記に佐々木鴨之助某が住み、鴨之助館といふたとあるが、時代はわからない。

村中に五輪があり、小松殿の墓といっているとあるが、銘もなくこれを明確にすることはできない。

